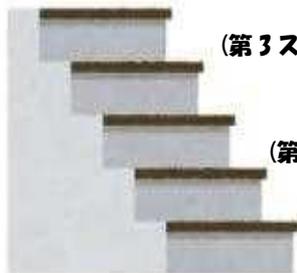




さんだんかい
LAS-E が三段階にわか
れているって知ってた？



(第3ステージ) ← 市民事業者やパートナーシップ組織における環境・保全活動の実施

(第2ステージ) ← 地域全体の環境政策の実施や事業活動における環境配慮の実施

(第1ステージ) ← 庁内事務活動における環境配慮の実施

6月29日に平成26年度独自目標監査及び平成27年度独自目標設定委員会が開かれました。

平成26年度監査結果

○第1ステージ第2ステップ

独自目標			LAS-E 規格項目別評価		環境対策を している か？
番号	内容	達成状況	規格番号 (部門)	評価	
D101	温室効果ガスH25比較 1%減	△	1-12 (エコアクション)	改善要望	環境に配慮し て行政運営し ているか？
D102	電気使用量H25比較 1%減	△			
D103	ノーマーカーデー5月~10月間 1人6回	×			
D104	廃棄物排出量H25比較 4%減	×			
D105	公用車使用燃料H25比較 2%減	△			
D106	水道使用量H25比較 1%減	×			
D107	LAS-E 関係職員研修 年2回以上	○	1-23 (エコマネジメン ト)	良好	
D108	各課 LAS-E 取り組み内容の確認	○			
D109	環境ニュース 年3回以上発行	○	1-30 (エコガバ ナンス)	良好	

○第2ステージ第1ステップ

D201	個人住宅用太陽光発電導入助成件数 年10件以上	×	第2ステージ第1 ステップ 2-12	良好	町民・事業者との 環境政策を実施 しているか？
D202	遊水公園清掃参加人数 1回50人以上	○			
D203	水辺イベントの開催 年1回以上	○			
D204	1人1日当たりのゴミの排出量 H17年 度対比42%減	×			
D205	地産地消を促す場づくりの事業開催 年1回以上	○			
D206	土幌町環境マネジメントシステム推進 本部会議 年2回以上開催	○			
D207	環境に関する意見交換 年1回以上	○			

○所見○

平成 26 年度の独自目標を監査した結果、第 1 ステージの 3 部門のうちエコアクション部門は「改善要望」、エコマネジメント部門およびエコガバナンス部門と第 2 ステージ第 1 ステップの取組について「良好」と判断しました。

第 1 ステージは、エコアクション部門の 6 項目すべてが未達成という状況でしたが、電気使用量は目標の H25 比較 1 %削減に対し 0.9%削減されており、公用車使用燃料も同様に 2 %の目標に対し 1.5%削減されているなど、未達ではあるものの削減の努力は評価されます。公用車の燃料は、前年は増加していましたので、エコドライブなどの成果があがっているものと推察されます。

改善要望は、廃棄物の排出が 4.4%増加したことやノー・マイカー・デーの実施が未達成であったこと、水道の使用量が 1.2%増加してしまったことです。

廃棄物の排出はここ数年増えており、給食センターにおける残飯の生ごみが大幅に増加したことや消防広域化に伴う備品の処分などが要因にあげられています。残飯の増加は極力抑えたいところではありますが、資源活用され、焼却はされていないことから、集計の手法を検討することも考えられます。備品の処分などの特殊な要因も同様で、普段の活動の成果が捉えられるようにしていくことが望まれます。水道については、プールやトイレなどで漏水があったことが要因ですが、施設管理において「早期発見」に努めていくことが重要と考えられます。

また、ノー・マイカー・デーは課によって実施に格差が生じており、当該部署での職員への周知徹底が望まれます。

エコガバナンス部門では、環境ニュースによって環境や LAS-E に関する情報を継続的に町民に提供していることは評価できます。今後、町民に関わりの深い廃棄物の削減や役場の取り組みなどを一層積極的に発信することで、町民の関心を高めていくことを期待します。

平成 25 年度から取り組みを開始した第 2 ステージ、第 1 ステップの 7 項目では、5 項目で目標を達成していました。個人住宅用太陽光発電導入助成件数は実績 8 件と目標（年 10 件以上）未達でしたが、途中で買い取り価格が下がったことなどによるものです。1 人 1 日当たりのゴミ排出量が増加していることは気がりですが、遊水公園清掃では 80 人が参加（目標 50 人）していることや、環境に関する意見交換の場が 2 回設けられたこと（目標 1 回）など、コミュニケーションの充実や地域への展開という見地で評価される実績です。

今後、課題点の要因・原因をよく調査し改善するとともに、地域一体となった取り組みの一層の推進に期待いたします。

平成 27 年度 独 自 目 標

○第 1 ステージ第 3 ステップ

		基準年度実績		目標値	
D101	温室効果ガス H25 比較 1%減	3,331	t-CO2	3,297	t-CO2
D102	電気使用量 H25 比較 1%減	2,669	Mwh	2,642	Mwh
D103	ノーマイカーデー 5月～10月間 1人6回	79.2	%	100	%
D104	廃棄物排出量 H25 比較 4%減	9,525	kg	9,238	kg
D105	公用車使用燃料 H25 比較 2%減	28,035	リットル	27,474	リットル
D106	水道使用量 H25 1%減	46,872	m ³	46,403	m ³
D107	LAS-E 関係職員研修年 2回以上	2	回	全体研修 1	回
				実行責任者・環境マネージャー研修 1	回
D108	各課 LAS-E 取組内容の確認	—	回	月 1回	回
D109	環境ニュース年 3回以上発行	3	回	3回以上	回

○第 2 ステージ第 1 ステップ

D201	個人住宅用太陽光発電導入助成件数 年 10 件以上	10	件
D202	遊水公園清掃参加人数 1 回 50 人以上	50	人
D203	水辺イベントの開催 年 1 回以上	1	回
D204	1 人 1 日当たりのゴミ排出量 H17 年度対比 46%減	636	g
D205	地産地消を促す場づくりの事業開催 年 1 回以上	1	回
D206	士幌町環境マネジメントシステム推進本部会議 年 2 回以上開催	2	回
D207	環境に関する意見交換 年 1 回以上	1	回

第 2 ステージでは、地域全体を対照する物となり、町の環境政策を推し進めるため、公共施設を利用される住民の皆様にも一層のご理解とご協力をお願いいたします。

※士幌町環境マネジメントシステムのホームページを公開しております(<http://www.shihoro.jp/env/>)



※目標達成状況について

○・・・目標達成

△・・・目標達成には至らなかったが、昨年度の実績よりも下回っている

×・・・目標未達成